

## がん化学療法レジメン登録票

新規レジメン登録の際にはプロトコールの提出が必須です  
プロトコールがない場合は参考文献を提出してください

レジメン名	R-GemOx
診療科名	血液・腫瘍内科
診療科責任者名	末永孝生
適応がん種	DLBCL
保険適応外の使用	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無

がん治療ワーキンググループ使用欄	
登録番号	NHL-006
登録日・更新日	2009年7月29日 登録 2020年4月28日 更新
削除日	
出典	AnnOncol.2007;18:1363
入力者	安室 修

投与順に記入(抗がん剤のみ)

	薬剤名：一般名 (薬剤名：商品名)	規格	投与量算出式	投与経路	投与時間	施行日
	希釈液					
No.1	リツキシマブ(遺伝子組換え) (リツキシマブBS点滴静注)	100mg, 500mg	375 mg/m <sup>2</sup>	<input type="checkbox"/> IV <input checked="" type="checkbox"/> DIV <input checked="" type="checkbox"/> CV <input type="checkbox"/> 側管 <input type="checkbox"/> その他( )	*	day1
	生理食塩液	500 mL				
No.2	ゲムシタピン塩酸塩 (ゲムシタピン点滴静注用)	200mg, 1000mg	1000 mg/m <sup>2</sup>	<input type="checkbox"/> IV <input checked="" type="checkbox"/> DIV <input checked="" type="checkbox"/> CV <input type="checkbox"/> 側管 <input type="checkbox"/> その他( )	10mg/m <sup>2</sup> /min	day2
	生理食塩液	500 mL				
No.3	オキサリプラチン (オキサリプラチン点滴静注液)	100mg, 500mg	100 mg/m <sup>2</sup>	<input type="checkbox"/> IV <input checked="" type="checkbox"/> DIV <input checked="" type="checkbox"/> CV <input type="checkbox"/> 側管 <input type="checkbox"/> その他( )	2時間	day2
	5%ブドウ糖液	250 mL				

1コースの期間	14日
投与間隔の短縮規定	<input type="checkbox"/> 短縮可能(日) ・ <input checked="" type="checkbox"/> 短縮不可能
計算後の投与量上限値	110%
計算後の投与量下限値	50%

減量・中止基準	<p>【延期基準】 ANC&lt;1,000/mm<sup>3</sup>Plt&lt;10万/mm<sup>3</sup></p> <p>【減量基準】 7日間以上14日未滿持続する末梢神経障害の出現時L-OHP75mg/m<sup>2</sup>とする14日間持続する末梢神経障害の出現時、症状が改善するまで投与を延期し、再開時はL-OHP75mg/m<sup>2</sup>とするL-OHP投与中に感覚異常が出現したときは投与時間を6時間に延長する</p>
前投薬	<p>【リツキシマブ前投薬】 アセトアミノフェン500mg + クロルフェニラミン注10mg + ファモチジン注20mg + ヒドロコルチゾン注100mg</p> <p>【制吐剤】 抗5-HT<sub>3</sub>薬 + デキサメタゾン</p>
その他の注意事項	<p>*1 リツキシマブの投与方法は院内標準化に準拠する。</p> <p>B型肝炎ウイルスキャリアの患者又は既往感染者(HBs抗原陰性、かつHbc抗体又はHBs抗体陽性)において、本剤の投与によりB型肝炎ウイルスの再活性化による肝炎があらわれることがあるので、本剤投与に先立って肝炎ウイルス感染の有無を確認し、本剤投与前に適切な処置を行うこと。本剤の治療開始後及び治療終了後は、継続して肝機能検査や肝炎ウイルスマーカーのモニタリングを行うなど、B型肝炎ウイルスの再活性化の徴候や症状の発現に注意すること。</p>

記入者	伊勢崎 竜也
確認者	竹内 正美